

- 高森町では、居住区域に近い里山である段丘林に繁茂する放置竹林が防災及び景観、有害鳥獣対策の課題となっている。
- このため、防災対策及び景観上の観点、有害鳥獣による農作物被害対策からモデル地区を選定して竹林の伐採整備の取組を継続して実施している。

□ 事業内容

吉田古城・本城竹伐採破碎事業（森林環境譲与税活用推進事業）

- ・吉田古城・本城城跡を覆う竹林の伐採整備を年次計画で実施。

【事業費】3,113千円（うち譲与税3,113千円）
（譲与税は、竹伐採破碎作業に係る部分に充当）

【実績】竹伐採破碎作業 A = 0.31ha

□ 取組の背景

- ・段丘の突端にある吉田古城・本城はこの地方の歴史を現代に伝える貴重な城跡であるが、竹林に覆われて全容を見ることができなかった
- ・段丘の急斜面に繁茂する放置された竹林は防災、及び景観、有害鳥獣対策からも地域の課題となっていた。



（令和4年度施工前）



（令和4年度施工後）

□ 工夫・留意した点

- ・城跡であるので景観に配慮し伐採した竹は町所有破碎機により破碎し現地へ還元した。
- ・城跡保護の為土地を改変せずに破碎機を入れることができる場所から計画的に整備を進めている。

□ 取組の効果

- ・竹伐採整備により城跡の堀が明確に分かるようになった。
- ・城跡愛護会組織の活動も活性化し活動意欲が増した。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：4,642千円	②私有林人工林面積（※1）：593.46ha	
③林野率（※1）：56.4%	④人口（※2）：12,811人	⑤林業就業者数（※2）：14人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より